

(様式第 1 号) (第 9 条関係)

事業基本計画書

2025年9月9日

長野県知事 様

住 所 名古屋市東区東桜 1 丁目 1 3 番 3 号 NHK名古屋放送センタービル 1 8 階
氏 名 株式会社中電LoopSolar 代表取締役 久村 真司
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第 9 条第 1 項（第21条第 3 項、第27条及び附則第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		〒399-3701 長野県上伊那郡飯島町田切 1-8 8
事業区域の位置及び面積		8,835㎡（フェンス内） 位置図、事業区域図のとおり
太陽光発電電力施設の合計出力		500.0kW (太陽電池の合計出力 739.2kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☐ 売電 ☒ 自家消費 設備ID ()
	設置工事着手予定日	令和8年3月1日
	設置工事完了予定日	令和8年6月30日
	運転開始予定日	令和8年9月15日
	施設撤去予定日	PPAによる導入のため運転開始から20年後に契約更新, 無償譲渡, 撤去か判断
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」を参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドラインを参照し、強度計算を実施、架台は風雪に耐えられる強固な設計とする。
景観の保全のための措置の検討に関する事項		別紙【景観の保全のための措置の検討状況書】参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		該当なし
維持管理計画に関する事項		別紙【維持管理計画】参照
関係市町村長及び関係住民の 範囲並びにその根拠	範 囲	伊那郡飯島町
	根 拠	「飯島町 住民税務課 環境共生エネルギー係」にて確認

事業基本計画説明会の開催の 日時及び場所	日 時	未定
	場 所	未定
意見の提出先	【郵送提出先】 〒461-0005 名古屋市東区東桜1丁目13番3号 NHK名古屋放送センタービル18階 株式会社中電LoopSolar 【電子メール】 ml-CLS@c-net.ne.jp	
土地の権原の取得予定	自家消費案件のためのため該当なし	
地域社会に資する事項	お客様の敷地空きスペースへの設置	
備考	連絡先 (電話番号) XXXXXXXXXX (電子メールアドレス) XXXXXXXXXX@XXXXXX.XX	

注1 該当する□内に△印を記入すること

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☐ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☒ その他 (自家消費で客先工場内に設置)		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙のとおり		
工事車両の運行計画	想定される台数 (延べ) 150 台 3 台×50 日 運行時間 9 : 00～17:00 経路 経路搬入図参照		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒	想定盛土量 m ³
	切土の有無	有 ・ ☒	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		— m ³
排水処理設備の有無	有 ・ ☒		
	排出経路	客先工場内にある排水設備を想定	
送電設備	☐ 鉄塔 ☐ 電柱 ☐ 地下埋設 自家消費のため該当なし		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	客先敷地内の空きスペースへの設置 既存の地形を活かし、大幅な造成は行いません。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	主要道路や公共的な眺望点から見えるものではありませんが、完成予想図を作成し、添付しました。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	主要な道路には面しておりません。隣地境界からは太陽光モジュールを離して設置しました。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地状況にあわせパネル配置を計画しました。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	架台角度を15° とすることで高さを抑えました。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	架台角度を15° とすることで垂直投影面積を抑える設計としました。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	架台を1種類に絞ることで配列に一定の規則性を持たせるよう配慮致します。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	パネル角度を15° とすることで整合させました。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏側は森林が広がっており、道路がないため裏側は見えにくい状況です。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		低反射のものを使用します。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒または紺を使用します。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	配慮します。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	配慮します。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		フェンスは黒もしくは茶色系を使用します。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		自家消費のため該当なし
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		配慮します。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽はありません。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽はありません。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		現状の配置で反射影響に大きな問題はないですが、住民説明会を経て意見が出た場合は必要措置を実施致します。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		年1度維持管理を実施します。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		飯島町より適合通知書を受領しておりますのでその内容で実施します。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 年 月 日

太陽光発電施設の設置場所	〒399-3701 長野県上伊那郡飯島町田切 1-8 8		
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名）	〒461-0005 名古屋市東区東桜 1 丁目 1 3 番 3 号 NHK 名古屋放送センタービル 1 8 階 株式会社中電 LooopSolar 代表取締役 久村 真司 電話 052-888-2012		
保守点検責任者	氏名及び住所	■■■■■	住所は同上
	電話番号	同上	
合計出力	500kW		
維持管理の内容	別紙のとおり		
施設撤去予定日（事業終了予定日）	2046 年 9 月 30 日		
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)		
太陽光発電施設を撤去する際の対応	産業廃棄物処理業者へ依頼する。		
維持管理計画及び状況の公表方法	事務所等に保管しておき、請求があった際に開示する。		

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

・緊急時の連絡先は共有しているため、客先から連絡をいただいて上で調整となりますが、客先工場内に設置となるため、客先の電気設備を管理している主任技術者様にて電源を遮断いただきます。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

・土砂災害時と同様に客先と保守担当でやり取りした上で必要手続きを実施致します。
客先工場内に設置となるため、電気関係のトラブルが生じた場合は客先の電気設備を管理している主任技術者様にて電源を遮断いただきます。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☒	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	半 年 1 回	
			端子箱に破損、変形がないか		半 年 1 回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		半 年 1 回	
	☒	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		半 年 1 回	
	☒	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		半 年 1 回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		半 年 1 回	
	☒	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		半 年 1 回	
	☒	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		半 年 1 回	
			接続部に緩み、破損がない。		半 年 1 回	
	☒	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		半 年 1 回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		半 年 1 回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		半 年 1 回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		半 年 1 回	
			固定強度に不足の懸念がない。		半 年 1 回	
接続箱	☐	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			雨水、じんあい等の侵入がない。			
	☐	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。			

漏電遮断器	☒	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形がない。		1年 1回	
	☒	配線	配線に著しいきず、破損がない。		1年 1回	
パワーコンディショナー	☒	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		半 年 1 回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		半 年 1 回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		半 年 1 回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		半 年 1 回	
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損がない。		半 年 1 回	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 ○ 回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			

			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☐	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、堀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		半 年 1 回	
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		半 年 1 回	
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		半 年 1 回	
進 入 路 ・ 管 理 道	☐	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☐	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。

位置図

Google

マルヤス長野

位置図 〒399-3701 長野県上伊那郡飯島町田切 1-8 8

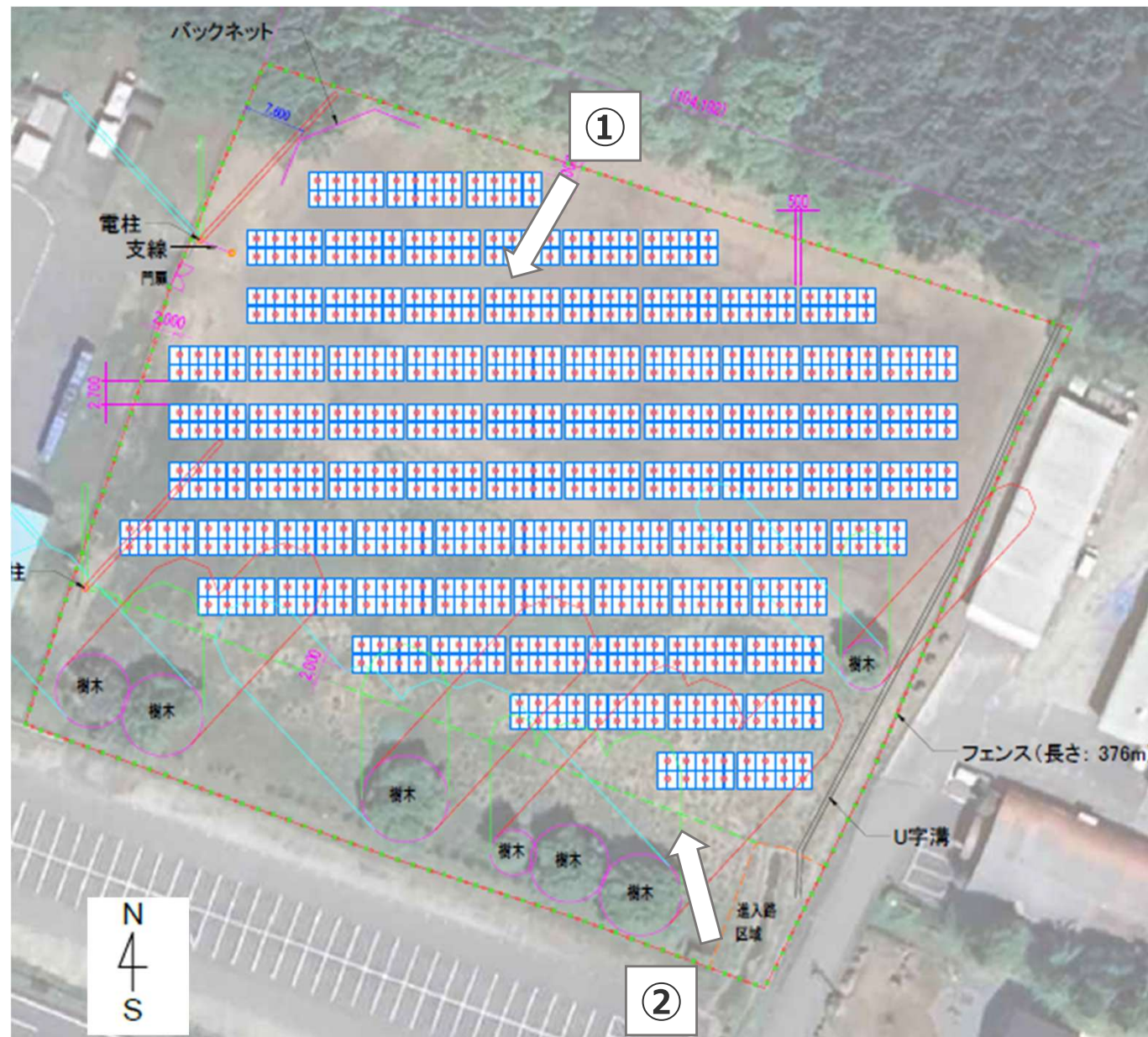
16

対象地





配置図



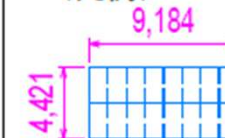
パネル出力

600 W × 1232 枚 = 739.20 kW

2 段 × 8 列 × 77 セット

敷地面積: 8,835m²

<凡例>



縦 2段8列

600W 単結晶 LP-600NCV-144MH-002

パネルサイズ: 2278×1134×35mm

15°傾斜

(寸法単位=mm)

①からの眺望

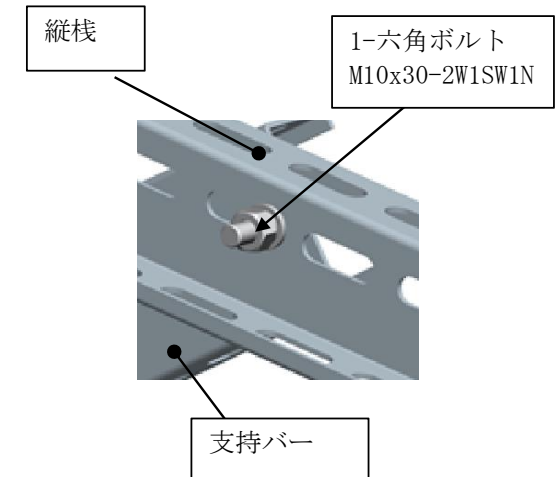


②からの眺望

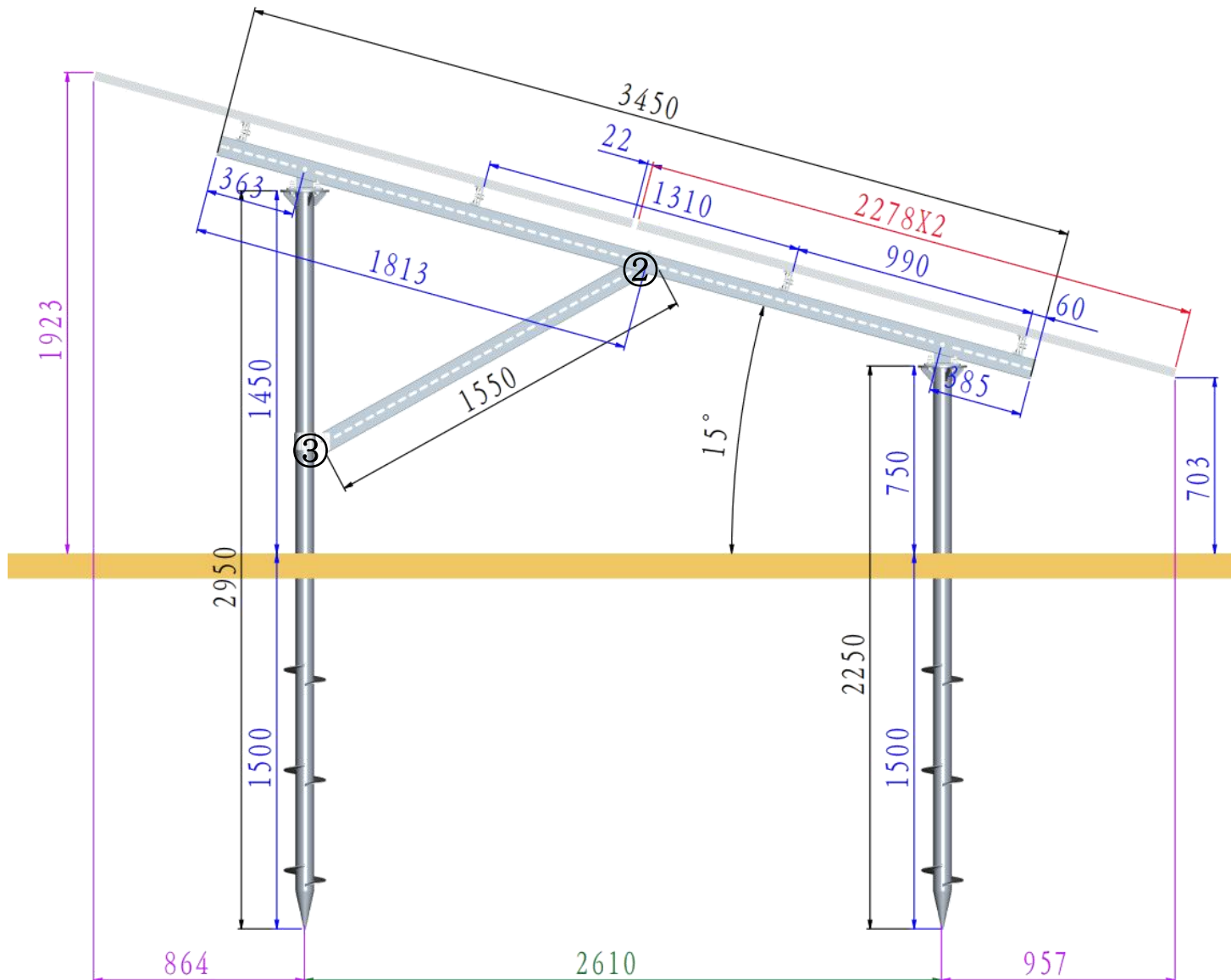
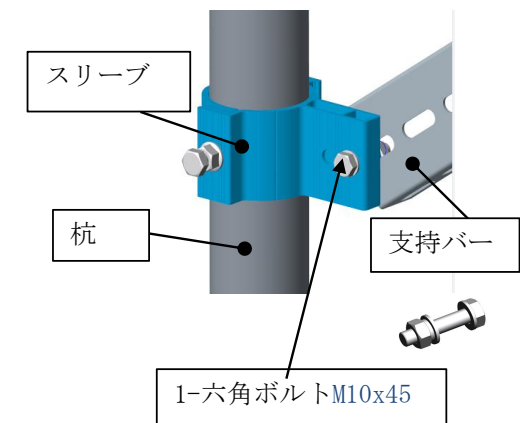


案件名	長野県上伊那郡飯島町_株式会社マルヤス長野			強度条件	
				JIS C8955 : 2017	
架台角度	15度	架台仕様	基礎3羽根杭	風速30m/s	積雪50cm
バックシートタイプ 600W			縦置2段8列	粗度区分	凍結深度
2278x1134x35mm (990/1400)			マンセル値7	Ⅲ	45cm
デザイナー	zym	チェック	lrx	日付	2025/4/14

②支持バーと縦棧の接続部



③支持バーと杭の接続部



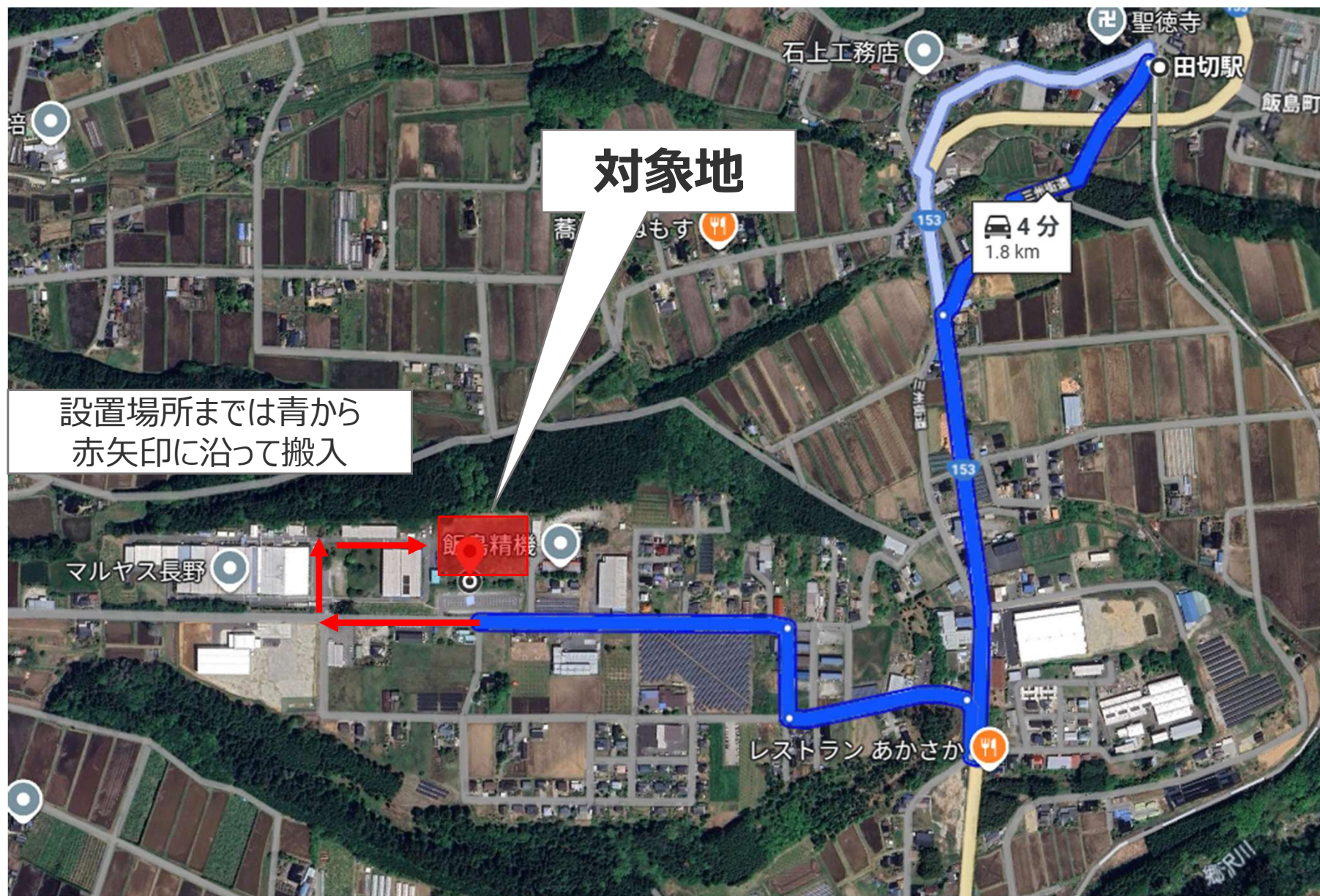
事業の実施スケジュール

[illegible]

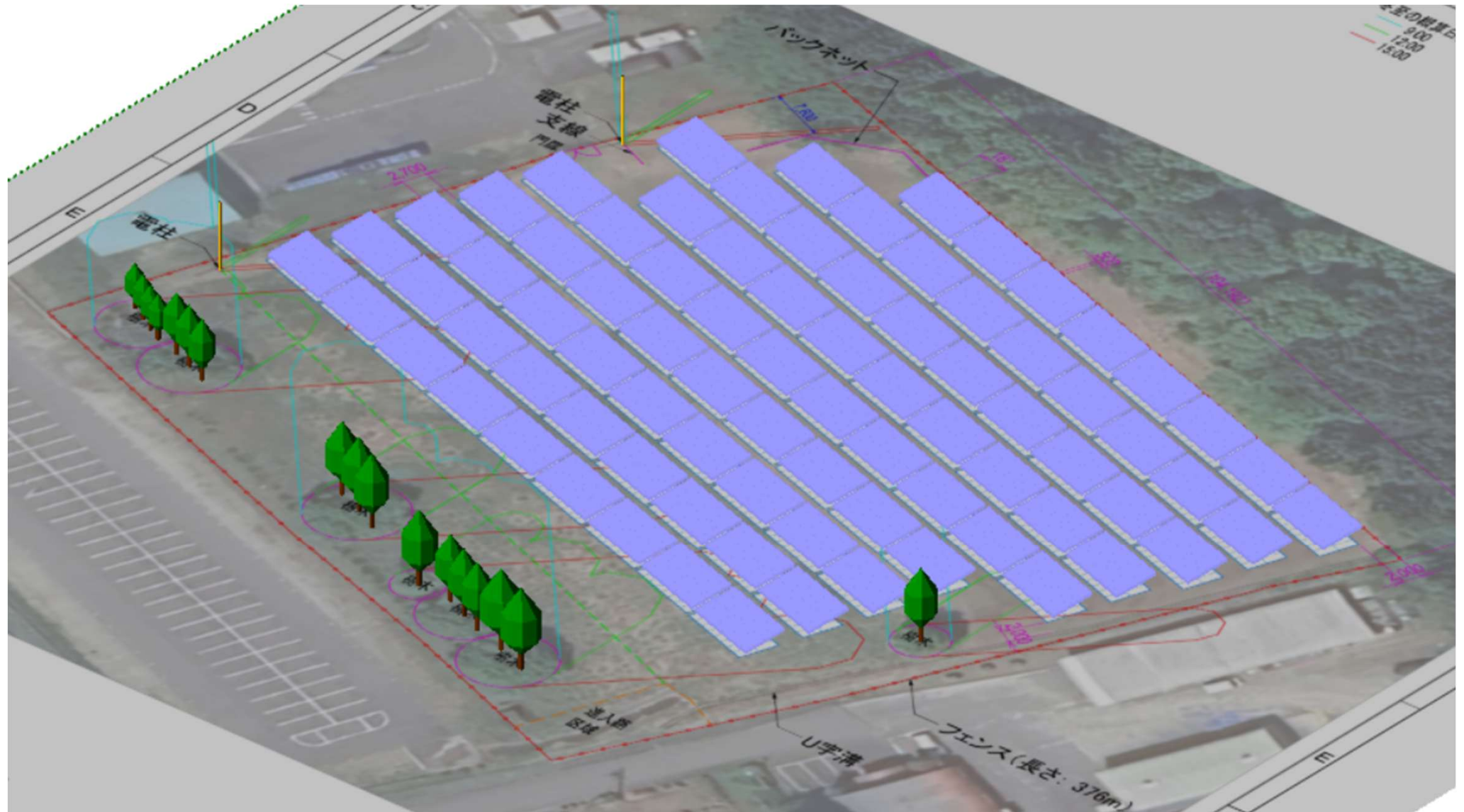
備考

- ・説明会の通知、周知から開催までは14日以上確保、説明開催から意見書の提出まで30日以上確保する必要があります。
- ・維持管理届書と工事着手届書提出してから30日ほどで自治体から許可をいただけます。（許可をいただきた次第着工可能となります。）
- ・停電工事は5月のGWあたり、発電所稼働は9月中で想定しております。

経路搬入図



完成予想図①



完成予想図②

